



江別ユネスコ協会事務局だより 2016年5月14日号

◇江別ユネスコ協会事務局/067-0074江別市高砂町 24-6 教育委員会・生涯学習課内(青少年係☎381-1069)

今年の北海道ユネスコ大会は、恵庭市で10月に開催されます

2016年度の北海道ユネスコ大会は、「北海道ブロック・ユネスコ活動研究会」を兼ねて、10月8日(土)と9日(日)の両日、恵庭市民会館(恵庭市新町10)において、(公益)日本ユネスコ協会連盟と北海道ユネスコ連絡協議会の主催、恵庭ユネスコ協会の主管により開催されます。この大会のテーマは「つながり広げよう!希望の未来と世界の平和へ」です。近隣ユネスコ協会として、当協会からも多数の出席を要請されておりますので、会員の皆様はお誘い合わせご参加ください。

なお、参加申込みは8月中旬に開始される予定で、江別市からの参加者は当協会事務局で取りまとめますので、今後のご案内に従って申し込んでください。参加料は会員1名3,000円です。

また、本年は「恵庭ユネスコ協会創立30周年」に当たるので、同協会では記念事業として、著書「ばかの壁」で有名になった養老猛司さん(脳科学者・医学博士)の講演会を開催します。日時は7月2日(土)午後になる見込みで、会場は恵庭市民会館大ホールです。聴講は無料ですが、入場整理券が必要です。整理券は5月から配布されますので、希望者は早めに確保したほうが良いでしょう。問い合わせ先は、恵庭市教育委員会(☎0123-33-3131)内の恵庭ユネスコ協会事務局です。

世界記憶遺産に「東寺百合文書」と「舞鶴への生還」が登録!

ユネスコの遺産事業には、世界遺産条約に基づく「世界遺産」、無形文化遺産条約に基づく「無形文化遺産」、ユネスコ事務局が独自に行う「世界記憶遺産」の3種の事業があります。このうち「世界記憶遺産」は、政府以外の団体や個人でも登録申請が行える点で最もユニークです。日本からは、福岡県田川市と福岡県立大学が共同申請した「山本作兵衛の筑豊炭鉱の記録画」や、日本政府が申請した「慶長遣欧使節関係資料」「御堂関白記(みどうかんぱくき)」など3件が登録されていましたが、ユネスコは昨年10月10日に、日本政府が申請した「東寺百合文書」と京都府舞鶴市が申請した「舞鶴への生還」を新たに登録したので、これで日本からの登録は5件になりました。

「東寺百合文書」は奈良時代から江戸時代へ及ぶ古文書群で、その名称は、江戸初期の加賀藩主・前田綱紀が東寺へ寄進した100個の桐箱が文書の長期保存に貢献したため付けられました。「舞鶴への生還」はシベリアに抑留されたのち舞鶴港へ引き揚げた抑留者たちの570点に及ぶ記録資料です。白樺の樹皮に書かれた抑留生活中の短歌集「白樺日誌」等、貴重な資料が集められています。

小樽ユ協の安達久美子事務局長が日本ユネスコ国内委員に就任

2015年12月1日、馳浩文部科学大臣は日本ユネスコ国内委員の改選に際し、59名の新委員を任命しました。本道からは小樽ユネスコ協会の安達久美子事務局長が選任されました。(任期3年)

ユネスコ国内委員会は文部科学省の特別機関で、外務大臣・文部科学大臣など関係大臣の諮問に答え、国のユネスコ政策を審議します。なお、ユネスコ協会とは直接の関係を持ちません。

道ユネスコ連協の役員改選! 田村江ユ協会長は副会長を満期退任

北海道ユネスコ連絡協議会の平成28年度定期総会が、5月14日に札幌すみれホテルで開催され、これまで副会長を務めた当協会の田村邦雄会長は、3期6年の重任期限が満了したので、この総会をもって副会長職を退任しました。なお、この総会で津和子会長は10名の常任理事を指名し、総会はこれを承認しました。田村・江別ユ協会長もその中に含まれたので、今後は常任理事の任務に当たることになりました。(任期2年、但し重任制限なし)

